

◎収入役（北田愼一君） 小川議員の公会計制度の改革についてお答えいたします。

現行の公会計制度の方式では、単年度の収支は厳密に管理されているものの、保有している資産、将来返済しなければならない負債や債務などの状況の把握がしにくいこと、また、減価償却費を計上していないため、実質的な行政サービスに要したコストがわかりにくくなっております。

こうした財政情報の不足を補うため企業的会計の考え方を取り入れることは、市の行政運営のあり方、施策の方向性の決定、事業の効率化を図る上では有用であるとともに、市民への説明責任を果たす上で非常に意義のあるものと考えております。

本市では、わかりやすい財政情報を提供するため、まず、市全体の会計ベース、一般会計、特別会計等を連結したもので、資産、負債のストック状況をあらわすバランスシートの作成作業を現在進めており、作成後速やかに公表したいと考えているところであります。

また、並行的に資本形成に結びつかない行政サービスのコストを示す行政コスト計算書や、行政サービスにおける資金の流れを示すキャッシュフロー計算書などの作成に取り組んでいきたいと考えております。

何より市民が見てわかる、理解できる財務諸表の作成に向け、今後さらに検討・研究を進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いをしたいと思っております。